

2020年4月17日

「学科長からのメッセージ」

心理こども学部 こども教育学科 学科長 赤木公子

皆さんこんにちは、こども教育学科学科長の赤木公子です。

皆さんどうされていますか？お元気ですか？

長い長いお休みになってしまいましたが、「どうされているかな？」と学科の教員一同皆さんのことを、ずっと思っております。

今日は家庭の中で何かできることを、だんだん退屈になってきたのではないかな？という風に思いますので、幾つか用意をしてきました。

現場に出て、保育所・幼稚園そして小学校というところで実習をしたり、先生になったりしたら、たくさんの折り紙などを作って、子どもたちの脳にいい刺激を与える・手を細かに動かす、そういったようなことを、していかなくはいけないかと思えます。

この折り紙はなんだか分かりますか？「はらぺこあおむし」です。

授業の中でも作ったり、ゼミの中で作ったりしている人たちもいるかと思えます。

こんなものや、こちらは本当に幼稚園の子どもたちが作ってくれた、プレゼントしてくれたものですが、こういったチューリップも作ってみたりしてはどうでしょう。

折り紙をしたり、絵本も持ってきました。絵本の読み聞かせをしたり、こんなようなことで毎日を、自宅の中でもできるようなことを考えて、教材をたくさん、今の間に自分のポケットの中に貯めていくっていうこと、これはとっても大事なことかなと思えます。何か考えて、手遊びをしたり・絵本を読んだりいろんなことを試してみてください。

そろそろ履修登録が、一年生は来週から始まります。更に、在校生の皆さんは今既に、履修登録をされていると思います。困ったな、うまくできない、分らないなと思われたら、すぐに、メール等でゼミの先生や、アドバイザー、そして教務の先生たちに聞いてください。誰でも、お答えをしたいなというふうに思います。

もう少しの辛抱です。とても今きれいないい、爽やかな時期ですけれども、もう少ししたらまた、皆さんと会えるかなという風に、教員一同、心待ちにしております。

どうぞ元気で！そして、楽しい、何かいいことを考えてこの時期乗り切ってください。みんなで一緒に力を合わせて、乗り切っていきましょう！

それではまた、皆さんにお会いできること心待ちにしております。 さようなら